

IBC 2018 出展社情報

2018年9月14日(金)～18日(火)の5日間、オランダのRAI アムステルダムコンベンションセンターにて開催される欧州放送機器展「IBC2018」の各社出展概要をお届けする。



◆アストロデザイン：ホール 8 / A15

出展製品：8K カメラ、8K レコーダ、8K/4K コンバータ他
【最新ファームウェア情報】

●VG-879 Ver1. 80

・VT-8500-0006 等、VG-870 ベースで作成したデータを読み取るとプログラムデータがずれる不具合の修正

●VG-876 Ver5. 40

・VT-8500-0006 等、VG-870 ベースで作成したデータを読み取るとプログラムデータがずれる不具合の修正

●SP-8870 Ver12. 30

・Program Editor の CVT Generator を Ver1. 2 対応
・CTS Tool2 での AVI InfoFrame の Version 設定を修正
・CTS Debug Tool での AVI InfoFrame の Version 設定を修正
・Option Editor でのシミュレーション機能でのメモリエラーを修正

【問い合わせ先】

アストロデザイン株式会社 事業本部(営業)

TEL : 03-5734-6301 FAX : 03-5734-6102

大阪営業所 TEL : 06-6328-8558 FAX : 06-6328-5058

http : //www.astrodesign.co.jp/contact.html

◆オタリテック取り扱いメーカー出展概要

◆LAWO：ホール 8 / B50

LAWO 社からは「Broadcast3.0」をコンセプトに RAVENNA、ST-2110 などの最新のネットワークに対応した製品をリリース、mc2 シリーズコンソールをはじめ、ビデオプロセッシング製品も数多くラインアップする。本年の NAB で登場した最新第 3 世代 mc²56 も出品を予定している。

◆Riedel Communications：ホール 10 / A31

Riedel 社からは最新インカムシステム「Bolero」のスタンドアロンバージョンが登場。また、光マルチメディアネットワークシステムの「Micron」が IP 対応となり Riedel 社製品も IP ネットワークに対応したラインナップを拡充している。

◆Junger Audio：ホール 10 / A49

日本国内でも多くの導入実績をもつ Junger Audio 社からはステレオ放送の音声レベルとラウドネスの自動的な管理に最適な 2ch ラウドネス・ダイナミクス・プロセッサ「EASY LOUDNESS」が登場。

◆AVT：ホール 8 / E76

AVT 社からテレフォンハイブリッドの出展を予定している。

【問い合わせ先】オタリテック TEL: 03-6457-6021
www.otaritec.co.jp

◆ネットワークエレクトロニクスジャパン取り扱いメーカー

◆Nevion：ホール 1 / B71

今回のテーマは「We are turning the focus on PEOPLE.」を掲げてきた従来のハードウェア、ソフトウェア販売のアプローチから少し違ったアプローチをアナウンスした。これは「物から人へ」主役をシフトするアプローチなのだが、IP メディアトランスポート全般にかかわる技術的な問題や人的リソースに関しての問題を解決するソリューション全般に関してお客様の力になれるパートナーを目指している。手始めに欧州に IP オペレーションセンターを開設しお客様の IP メディア管理をサポートできる体制を整えている。

展示製品では、VideoPath IP メディア・マエストロ・オーケストレーション・サーバーのブラッシュアップを行い NMOS にも対応した UI を発表する。Virtuoso IP ゲートウェイのアップデートにより ST 2110 対応と多機能、大容量新フレームシャーシを発表する予定。

◆Stream Labs：ホール 7 / A40

Windows サーバー用ソフトウェアベースの IP オーディオ & IP ビデオマルチフォーマットビデオマルチビューアーの MultiScreen アップデート新機能を展示予定。その他、VRec: 多チャンネル録画オートメーションソフトウェア、MultiDelay: TS ビデオ最大 19 秒の遅延装置をデモ展示予定。

◆Volicon/Verizon Digital Media Service：ホール 5 / B64

MPEG2/H.264 を搭載し長期間の同録と同時に web インターフェースによるクリップ編集共有機能やマルチチャンネルモニタリング機能とソーシャルメディア向けや OTT、ストリーミングサービスとの連携が可能なシステムを展示予定。

◆Torque Video System：ホール 1 / F34

DVStor 同録装置の最新アップデート版を展示。DVMon QoS モニタリング装置シリーズで DVB-T2 と 10Gig Ethernet ポートを搭載した新製品を発表予定。

◆Bridge Technologies：ホール 1 / F68

オールインワンポータブルタイプの IP/TS/RF プローブ Nomad (ノマド) から IP ビデオ・コンテンツ・エクストラクター、アーカイブモニターや多様な情報を表示するビデオウォールビューアー監視モニターアナライザを展示予定。

輸入代理店：ネットワークエレクトロニクスジャパン株式会社
TEL : 03-5542-3260 www.network-electronics.co.jp

◆ノイトリック；ホール 8 / C90

【問い合わせ先】ノイトリック株式会社
http://www.neutrik.co.jp/jp/

◆朋栄：ホール 2 / A51

最新 12G-SDI 対応製品、IP 対応製品など、現場ニーズに合わせたソリューションを展示

今年は、ブース内を現場ニーズに合わせて 8 つのコーナーに分けてソリューション展示を行い、最新の 12G-SDI 対応製品、IP 対応製品を展示するとともに、次世代環境への移行に向け 12G/IP 統合制御システムを紹介する。

主な出展製品は以下の通り。

主な出展製品

● 12G システムソリューションコーナー

■ 12G-SDI 対応ビデオスイッチャー HVS-6000

24 入力/24 出力、16AUX 出力の 12G-SDI 対応 2M/E ビデオスイッチャー。全プロセスで 4K 処理を実現するために新たに設計。最大 80 入力/32 出力または 64 入力/48 出力の 3M/E 構成に拡張可能。

■ 12G-SDI 対応ルーティングスイッチャー MFR-4000

全ポートが 12G-SDI に対応可能なルーティングスイッチャー。最大 72 入力 x 72 出力のマトリクス構築が可能。電源ユニット、CPU 基板の冗長化に加え、本体 2 台の並列稼働も可能。高い堅牢性を実現。このほか、各種 12G-SDI 対応モジュール製品、12G-SDI 対応マルチビューワー MV-4300 も出展。

● 可搬型 12G システムコーナー

■ 12G-SDI 対応ビデオスイッチャー HVS-1200

4K/12G-SDI に対応した小型 1M/E ビデオスイッチャー。全入力にフレームシンクロナイザーを搭載し、4K 時に 10 入力 8 出力 + 2HDMI 出力を実現。設定変更で 40 入力 10 出力の 2M/E HD ビデオスイッチャーとして利用可能。

■ 12G-SDI 対応ルーティングスイッチャー MFR-1000

最大 16 入力 x 16 出力に拡張可能な 12G-SDI 対応ルーティングスイッチャー。LAN またはシリアルポートを介して外部制御機器とのシステム連携が可能。オプションで 8 系統の出力に対して AVDL 機能を付加することが可能。12G-SDI 対応デジタルスーパーキーヤー DSK-4800 も参考出展。

● SDI/IP 統合制御システムコーナー

■ SDI/IP 統合・監視・制御システム

ベースバンド環境と IP 環境を統合的に制御・監視でき、ベースバンド/IP を意識しないシームレスな運用が可能。朋栄が提案する段階的な IP 環境移行について紹介。

■ マルチチャンネルビデオサーバー MBP-1000VS-IP

4K XAVC コーデックを最大 2 系統搭載し、IP 環境での収録または再生に対応。

● HD ライブプロダクションシステムコーナー

■ 4K 対応ビデオスイッチャー HVS-490

標準で 16 入力、8 出力 + 1HDMI 出力が可能な 2M/E ビデオスイッチャー。全入力にフレームシンクロナイザーとプロセスアンプを搭載。オプションで quad link 3G-SDI 入出力による 4K UHD に対応。ClassX リアルタイム CG 製品、Envivo インスタントリプレイ製品、Cinegy 製ビデオサーバーと組み合わせて、ライブ制作システムとし

て展示。

● 4K/HD サイマル出力コーナー

■ マルチパーパスシグナルプロセッサ FA-9600

12G-SDI に対応し 2 系統処理が可能なシグナルプロセッサ。ダイナミックレンジ変換、色域変換、アップ/ダウン/クロスコンバーター、12G/3G 変換、2SI/SQD 変換など各種機能を搭載可能。4K HDR ディスプレイの設定を連動させる Video Payload ID 連動機能(*1)を搭載。3D LUT などへの対応を予定。

■ 4K ダウンコンバーター IF4K-DNC [InSync Technology Products 製]

12G-SDI 対応ダウンコンバーター。SDI ならびに HDMI 入出力に対応。フレームシンクロナイザーとカラーコレクション、ダイナミックレンジ変換、色域変換の各種機能を搭載。サイマル同時出力が可能。

● リモートプロダクションコーナー

■ H.265/HEVC リアルタイム映像伝送装置 IP-HE950 [富士通製]

欧州販売代理店を務める富士通製品から、1U ハーフラックサイズの小型リアルタイム映像伝送装置を展示。H.265/HEVC を採用し、SMPTE-2022-1 で規定される業界標準のエラー訂正機能を搭載。SD から 4K の伝送に対応。H.264 と比較し約 2 倍の圧縮効率を実現。

■ 4K タイムラグチェッカー EDD-5400 [朋栄エレクトロニクス製]

遅延時間を 0.001msec 精度の高精度計測が可能なタイムラグチェッカー。テストタイムコードを使用し、映像遅延時間、音声遅延時間、音声チャンネル間の相対遅延時間差、および映像音声相対遅延時間差を測定可能。このほか、朋栄エレクトロニクス製品として、遅延時間調整装置 EDA-2000、チェンジオーバースイッチャー IPS-6200 を出展。

● ポータブルバーチャルシステムコーナー

ポータブルビデオスイッチャー HVS-100 とバーチャルスタジオシステム Brainstorm Infinity LiteSet を組み合わせることで実現するポータブルバーチャルシステムを紹介。

● 4K 高速度カメラコーナー

■ 4K 高速度カメラ FT-ONE-SS4K

2/3 インチイメージサークルに対応し、4K 解像度で最大 1000 コマ/秒の高速度撮影が可能な FT-ONE-SS4K を参考出展。HDR、広色域にも対応。

■ 4K 切り出し装置 ZE-ONE

4K 映像から任意サイズで切り出しポイントを設定し、HD-SDI 出力可能な 4K 切り出し装置。出力を 2 系統持ち、別々の場所の切り出し出力が可能。オブジェクトをリアルタイムに自動追尾するトラッキング機能を搭載。

XAVC はソニー株式会社の商標です。

(*1) SMPTE 規定の Payload ID Colometry Bit による設定変更に対応したディスプレイが必要になります。

【展示に関する問い合わせ】

株式会社朋栄 国内営業本部 TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3445-4451 e-mail : l_sales@for-a.co.jp

【問い合わせ先】株式会社朋栄 営業統括本部 海外営業本部

TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3446-4451

e-mail : l_sales@for-a.co.jp